

<新製品の紹介>

シンククライアント

「*SecureTerminal* (セキュアターミナル)」

新モデル「*SecureTerminal T511EM*」を発表

ビジネス用プリンタ並びに、関連するソフトウェア開発及びコンピュータ周辺機器メーカーである株式会社アプティ(本社:神奈川県横浜市、資本金:4億2,660万円、代表取締役社長:山本健治)は、セキュリティ対策とTCOの削減を同時に実現可能にする、シンククライアントの新モデル「*SecureTerminal* (セキュアターミナル) *T511EM*」を発表いたします。

昨年4月1日の個人情報保護法の完全実施に伴い、情報管理・保護体制の強化・整備の一環として、基幹システムの端末装置をシンククライアントへ移行する自治体、企業が急増しております。また、自治体や企業にとって重要な情報や個人情報など、膨大な量の情報を取り扱っているメインフレームを使ったシステムでのセキュリティ対策は、情報漏洩対策だけでなく、システムダウンしないための高い信頼性が求められます。

このような環境の中で当社は、昨年3月31日にシンククライアントでありながらサーバーを介することなく、IBMメインフレーム、およびiSeries(AS/400)と直接接続できる端末エミュレータを搭載したシンククライアント「*SecureTerminal T500E, T511E*」の販売を開始し、地方自治体を始め、事業会社からも高い評価と採用を頂いておりますが、この度プリンタセッションをサポートして欲しいというお客様からの強いご要望にお応えし、IBMメインフレーム、およびiSeries(AS/400)からのプリンタ出力をサポートした新モデル「*SecureTerminal T511EM*」を発表いたします。

「*SecureTerminal* (セキュアターミナル) *T511EM*」の販売チャネルは、弊社営業部門によるIT(情報技術)ソリューション・ベンダーを通して事業会社、官公庁、大学・教育機関、病院・医療機関など、またOEM販売も行っております。

初年度の販売計画台数は1万台、価格はオープン価格といたします。

「SecureTerminal T511EM」の概要・主な特徴

5250/3270 端末エミュレータ搭載

IBM メインフレーム、iSeries (AS/400) の端末エミュレータ(TN3270E、TN5250E)を標準搭載

ディスプレイセッションに加え、プリンタセッションも同時サポート

高いセキュリティの実現(情報漏洩の防止)

ハードディスクを持たず、また外部記憶装置の接続を制限することができるので情報の持ち出しができない

万全のウィルス対策

ハードディスクが無いので感染の危険性がない

運用コスト(TCO)の大幅削減

アプリケーション、OSなどのソフトウェアのインストール、バージョンアップ、ライセンス管理が不要

ハードディスク、ファンなど駆動部がないため機器の故障が極めて少ない

無音、省エネ、省スペース

駆動部がないため音が発生しない

ハードディスクが無いため粉塵の多い現場でも安心して使用でき、PC に比べ消費電力が少なく、コンパクトな筐体

端末管理ツール

システム管理者がセンター側で SecureTerminal(セキュアターミナル)の一括管理を行うことができる SNMP 管理ツールを無償提供

端末の IP、MAC アドレス、各種設定の一元管理をはじめ、端末の起動、終了、再起動や遠隔操作など管理に必要な作業がすべてこのツールで操作可能

当資料に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社アプティ

マーケティング・テクニカルセンター

担当：及川正隆

TEL 03-3435-8196 FAX 03-3435-8198

東京都港区新橋 6 - 9 - 5 JBビル